

事業報告書

第9期

2024.7.1~2025.6.30



特定非営利活動法人サードプレイス



日本赤十字社

令和7年度独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業の助成を受け発行しています。

本年度は、子どもたちの居場所づくりに加え、これまで積み重ねてきた活動を基盤にしながら、新たな仕組みづくりに挑戦し、未来に向けて多くの“種まき”をおこなった一年となりました。子どもたちの笑顔を守り、鶴見で暮らす人々に安心を届けるために、私たちは一歩一歩を大切に重ねてまいりました。

地域とのつながりを深めて

特に、鶴見区に根差した法人としての存在を確立することを目標に、地域との連携を強化しました。地域の団体や住民の方々と共に活動する中で、私たち自身も地域の一員として迎え入れられ、共に未来を描く関係を築くことができました。

また、多くの地域活動に参加することで、地域がどのように動いているのか、イベント運営の工夫や子どもたちへのまなざしを知り、私たちの法人としての役割を模索し続けた一年となりました。

鶴見中央地区社会福祉協議会 企画委員

第4期鶴見区地域福祉保健計画
(鶴見・あいねっと) 鶴見
中央地区の計画策定に協力

地域イベント・団体への参画

つるみ子育て個育ちフォーラム 運営・企画委員

鶴見区内で子育て支援や青少年育成に携わる団体や区民有志が一同に会するイベントを企画・運営

三ツ池公園フェスティバル

未使用文房具の回収ブースなどを近隣
の中学生と一緒に準備。開催に向け
「三ツ池会談」を共同で実施。
※今年度フェスティバルは雨天中止



ケアサークル みま～もすえよし

介護事業者や地域の方々がまずは顔の見える地域にしていきたいと組織。賛助会員として区内の児童支援や居場所づくりの様子を共有した。



つるみ夢ひろば実行委員会

実行委員メンバーとして協力
地元企業と共同でイベント当
日の会場担当を担った。



100万人のクラシックライブ

長期休み期間中の子どもたちの体験と思い出作りために、プロの奏者を派遣いただき、地元自治会と協力して開催。

地域と連携した事業

プラレールを起点とした取り組み

寄付で募ったプラレールをボランティアで整備。地域イベントの開催や小学生が過ごす施設等へ貸し出すなどして活用。

ともに歩んだ一年

WAM助成事業を通じた挑戦

WAM助成事業を活用し、既存事業の拡充とともに新たな取り組みにも挑戦しました。初めての試みには迷いや課題も伴いましたが、そこから得られた学びは今後の糧となっています。特に、鶴見区におけるひとり親世帯への支援体制づくりに力を注ぎました。アンケートやヒアリングを通じ、日々の困りごとや必要とされる支援を把握し、子どもや家庭にとってより良い支援のあり方を検証しながら前進しました。



次世代を育てる取り組み

未来を担う若い人材の育成にも力を入れました。職員やボランティアが子どもたちと関わりながら学び成長する姿は、法人に新しい風を吹き込みました。そのまなざしに希望を感じるたび、支援のバトンを次世代につないでいく意義を強く実感しています。



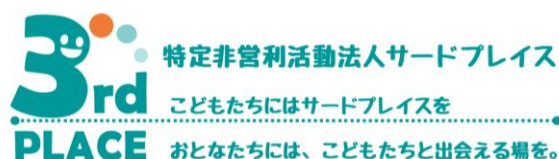
安定した法人運営への歩み

子どもたちへの支援を持続的に行うために、財政面や組織運営の見直しにも着手しました。職員が安心して働ける環境を整えることは、子どもたちに寄り添った支援を続けるための基盤です。現場に立つ職員が心から安心できるからこそ、より良い支援が実現すると信じています。



設立10年に向けて

2027年に法人設立10年という節目を迎えます。これまでの仲間と新たに加わった仲間とともに、次の10年に向けた準備を進めています。ここまで活動を継続できたのは、多くの方々のご理解とご支援のおかげです。その温かさに支えられ、私たちは歩みを止めず、次の一步を踏み出しています。



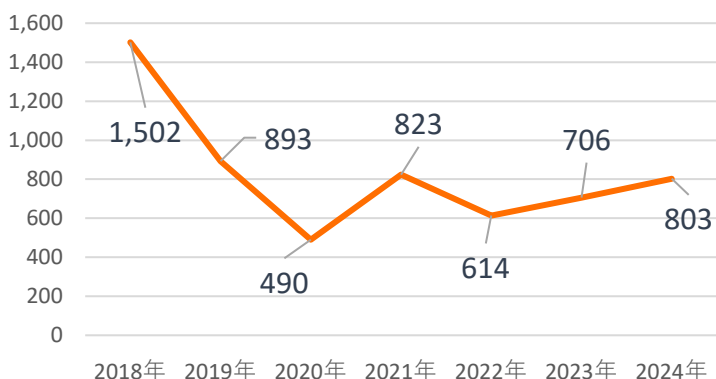
未来へ——地域とともに

これからも子どもたちの成長と笑顔を守り続けるために、地域とともに歩み、挑戦を重ねながら、未来への道を切り拓いてまいります。

地区センカフェ ～子どもたちの居場所づくり実践～



地区センカフェ(オープンスペース)
参加者数



「行けば誰かいる」という子どもたちにとっての待ち合わせ場所であり、頼れる大人に出会える場づくりを実施しています。
活動が7年を超え、遊びに来ていた子たちが高校生・大学生になり、ボランティア活動に参加してくれています。居場所として『在り続ける』大切さを実感。

場所：横浜市寺尾地区センター

<オープンスペース>

毎週火曜日 15:00～17:00 41回開催

延べ**803人**参加（うち子ども723人・大人80人）

<夜の部：学習支援> 5回開催

※鶴見区青少年の居場所づくり活動補助金を受け実施



公立中学校での放課後学習支援

中学校の校舎内（図書室等）での放課後学習会の実施。生徒一人ひとりに寄り添った個別対応により、学習の困り事のみならず生活面での相談にも対応。

日時：木曜日（月2回）主に16:00～17:30

場所：横浜市立寺尾中学校

開催回数：20回

参加者数：生徒 延べ**79人**

学習支援ボランティア/スタッフ 延べ**85人**

※寺尾中学校「てらお地域学校協働本部」の学びづくり部 放課後学び場事業として実施しています。

▼別の居場所事業で
卒業生のフォローも
続けています



つみれ自習室 ～高校生のための居場所～

放課後の高校生の居場所として実施。

勉強の目的だけでなく、大学生スタッフに進路相談や大学生活を聞いたり、就活や推し活などの話をしたりと、参加者それぞれが目的をもって参加しています。

身近にロールモデルがいることで、進学や将来のイメージづくりに役立っています。

日時：木曜日 16:00～19:00

場所：地域活動交流拠点230cafe（つみれカフェ）

開催回数：47回

参加者数：中高生 延べ**334人** スタッフ・ボランティア延べ**209人**

2021年6月～ 学習支援スタッフを配置

※令和6年度/令和7年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業の助成を受け実施。



横浜市鶴見区鶴見中央4-7-15-201
230cafe(つみれカフェ)



令和6年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

小中学生を対象とした放課後に安心して通える場を開設し、生活習慣や学習習慣を身につける機会を提供しています。子どもたち一人ひとりの状況に寄り添いながら、自立した生活を送るための支援をしています。宿泊行事や季節ごとのイベントも実施し、体験の幅を広げることに力をいれています。必要に応じて保護者の方へのサポートも行い、子どもたちの成長を家庭と連携しながら支えています。



年間イベント

- 4月 お花見、室内ピクニック
- 5月 こどもの日イベント
- 6月 緑のカーテン、野菜の種まき
- 7月七夕飾り
- 8月 クラシックライブ、森永工場見学
- 9月 お月見週間
- 10月 ハロウィン週間
- 11月 避難訓練
- 12月 クリスマスパティー
- 1月 初詣、書初め
- 2月 野島宿泊体験学習
- 3月 富士通株式会社見学

<開所日時>

- ・13:00から18:00 長期休暇中 11:00から16:00
1回最大5名
- ・その他、社会性を身に着けるためのイベント
月1回程度 土曜日・日曜日・祝日で実施

<2024年度実績>

登録者数：10名 開所日数：240日
利用人数：延べ299名



●今年度のトピック

今年度はイベントを月1回以上実施し、子どもたちの体験活動をより充実させることに注力しました。

利用者数が増加しているため、学年に応じた体験ができるよう、近隣の自治会や一般企業の方々にもご協力いただきました。



【夏の音楽祭】100万人のクラシックライブ



全国児童家庭支援センター協議会から『子どもたちに「音楽を届ける」プロジェクト』をご紹介いただき、100万人のクラシックライブ様からプロの奏者を派遣いただきました。地元自治会と協力してできたことで、事業を利用している子どもたちと地域の子どもたちとが一緒に参加することができました。

子どもたちが音楽のリズムにのり、笑顔で楽しんでいる姿がとても印象的でした。

生演奏の迫力や本当に目の前でバイオリンとピアノの演奏を聞くという体験が、とても貴重なものになったと思います。

児童家庭支援センターつるみらい



児童家庭支援センターは、児童福祉法に基づき設置された児童福祉施設。地域の子育て家庭の皆さんからの相談に対して、専門的な支援や援助をおこなう。横浜市鶴見区にお住まいの方が利用。スタッフは、社会福祉士、心理士、保育士など雇用し運用。

<相談対応件数>

延べ4,029件

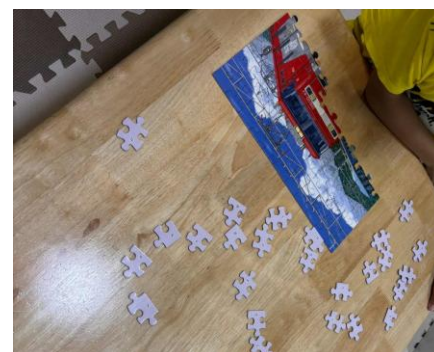
* 前年度実績 4,065件

<子育て短期支援事業

(一時預かり支援) >

203件、延べ214日

* 昨年度実績 269件、延べ308日



ダブルケア研究への参加

●日韓ダブルケア支援プロジェクトへの参加

「日韓におけるケアラー支援：ダブルケアラー・ヤングケアラー支援とケアが豊かな地域社会ーケアリングデモクラシーへの学び合い」（2023年度トヨタ財団国際助成プログラム）プロジェクトチームに参加。韓国ダブルケア支援研究者・実践者が来日：「日韓におけるダブルケアラー・ヤングケアラー支援について学び合う3日間」の複数セッションを担当。地域活動交流拠点230cafeで制度と支援現場の狭間の問題について勉強会、サードプレイスが実践する地域と連携した子どもたちの支援事業の講義を実施。

「日韓ダブルケア支援プロジェクトチーム『ダブルケア調査 2025 速報 政策提案書』2025年7月7日版」の作成に協力。（代表理事が参画）



●鶴見区にお住いのひとり親世帯向け食料品配達

寄付で得られる食料品や購入して集めた食料品の配達を継続して実施。
配達の際に、食料品以外の困り事の聞き取りを行い、アセスメントを実施。継続相談が必要な家庭を児童家庭支援センターにつなぎ、定期面談をおこないながらフォローを続けています（ひとり親相談支援事業）。

実施回数：12回 配達世帯：延べ152世帯 子どもの人数：240人 延べ利用人数：392人

※令和6年度/令和7年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業の助成を受け実施



多くの
食料品の
ご寄付を
いただき
ました

●ひとり親世帯の子どもたちの居場所

ひとり親世帯の不登校傾向のための子どもたちの居場所づくりを検討し、実施。ひとり親世帯向け食料品配達の利用者からのヒアリングや鶴見区内のひとり親世帯からのニーズ調査を実施。

開催：28回 参加者数：延べ22人

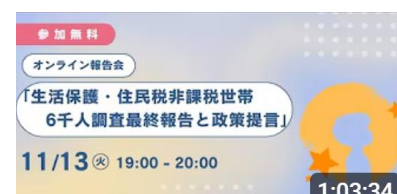
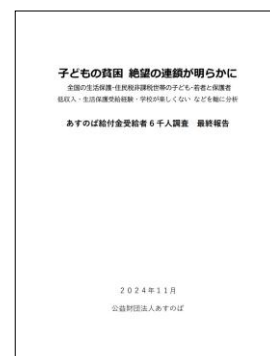
※令和6年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業の助成を受け実施

調査協力

●あすのば給付金受給者アンケート

公益財団法人あすのばが実施する「あすのば入学・新生活応援給付金」などを受給した全国の生活保護世帯・住民税非課税世帯などの子ども・若者（小学4年生～20代半ば）と保護者6,000人の調査について、給付金受給者アンケート検討委員会委員として協力。
オンライン報告会でも、調査内容だけでなく日々の支援の現場で感じていることをお伝えしました。（代表理事が参画）

生活保護・住民税非課税世帯6千人調査最終報告書
<https://www.usnova.org/report2024>



地域活動拠点230cafe（つみれカフェ）

「つみれプロジェクト実行委員会」での運営を中止。サードプレイスが運営を引き継ぎ、貸しスペースとして稼働。
令和7年3月31日で貸しスペースとしての稼働を終了。
自主事業として「プラレールカフェ」を実施。



プラレールを起点とした取り組み

地域のイベント等で呼びかけ、寄付いただいたプラレール。なんとコンテナボックス15個分以上が集まりました。

まずはボランティア整備士のみなさんとの整備会を開催。その後、鶴見中央地区社協さんや県立鶴見高校の皆さんと一緒に「みんなのプラレールひろば」を行ったところ大盛況となりました。

また遊びたい！という声を受け、230cafeで「プラレールひろば」「プラレールカフェ」を実施したところ多くの親子が遊びに来てくれました。区内の小学校や自治会にもプラレールを活用いただき、新たな交流の場づくりに役立っています。今後もまだまだ広がりを見せる活動となりそうです。



つるみまちなかりビング

地域のご高齢者の外出の機会づくり、孤立防止のための居場所づくりを目的に介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業サービスB通所型）を実施。横浜市通所型支援：リハビリ体操、ピラティス、映像を観ながら懐古談などのプログラムを実施。

日 時：木曜日 10：00～13：30
場 所：地域活動交流拠点230cafe
開催回数：47回
参加者数：248人
(うち要支援者数：22人)



つみれ まちなかりビング

参加費 500円
ランチ込み

いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けるために、介護が必要な状態になることをできるだけ避けましょう!!
月1回～、通所プログラムの参加だけでも可能です。
※費用に負担していただければ、この地域にお住まいの方以外でも参加にお願いいたします(参加費は別途お支払いください)

おうちから一歩外へ、遊びと学び、新しいコミュニケーションの場へようこそ。
親子力のカフェで親子アップ!! ランチやピラティスなどの体験ができます。

【健康づくりと出合いの場】
誰でも気軽に立ち寄り、交流できる空間です。
新設水曜日に開催のわいわい運動のプログラムをぜひご利用ください!!
また、学生や子育て世代も多く利用しているため、様々な世代の人間交流が期待できます。

【美味しいランチ】
手作りで美味しく健康的なランチが、皆さんと楽しく食べられます!!

【アクセス】
JR東横線 鶴見駅 徒歩10分
バス(バス1) 徒歩10分
バス(バス2) 徒歩10分

お問い合わせ・申し込み
特定非営利活動法人サードプレイス
080-9535-1594
https://www.n-thirdplace.com/

●寄付の教室

日 時：令和6年10月23日（水）13:30～15:10
場 所：神奈川県立二俣川看護福祉高等学校
参加者：23名

●事業活動報告会

実施回数：オンライン5回、会場1回

●視察報告会

令和6年12月23日（月）20:00～
福井県越前市「社会的養育総合支援センター 一陽」の視察報告

●研修会

令和7年2月7日（金）19:00～
「重層的支援体制整備事業を学ぶ」
講師：矢沢秀樹氏（伊那市釈迦福祉協議会 前 地域福祉課課長、
前 響働コーディネーター（重層支援コーディネーター））
参加者：29名（会場12名、オンライン17名）



取り組みの応援者を増やすための情報発信

●Web・SNSの活用



ホームページ



Facebook



Instagram

●タウンニュースへの掲載依頼

サードプレイス事務局実施の取り組みや運営施設での取り組みなどを積極的に情報提供し、自分たちの活動を知っていただく機会を増やしました。

●メディアへの取材対応

Webメディアや地元企業の機関紙などの取材を積極的に受け、さまざまな方の目に触れる機会を増やしました。

●メディア掲載等

- ・2024年10月 3日 タウンニュース鶴見区版「不要なプラレールを募集」
- ・2024年11月20日 これつる「レールで“つながる交流” 11月23日(土)「みんなのプラレール広場」
鶴見中央コミハで初開催」
- ・2024年11月21日 タウンニュース鶴見区版「プラレールで遊ぼう」
- ・2025年 1月16日 タウンニュース鶴見区版「子どもの宿泊体験を手伝う」
- ・2025年 2月13日 タウンニュース鶴見区版「日韓ダブルケアの実状学ぶ」
- ・2025年 2月19日 ヨコハマ経済新聞「韓国ダブルケア視察団が来日 実践現場で交流深める
ダブルケアサポートが福祉や教育の現場を巡るツアー」

活動報告

延べ
利用者数

6,381人

(前年比 98%)

延べ
ボランティア
数

294人

(前年比 75%)

前年度実績と比べると利用者数に大きな変化はありませんでした。コロナ禍の影響も落ち着き、継続してきた事業が地域の居場所として定着することで安定して利用者がいることがうかがえます。一方でひとり親家庭への食品配達など、ニーズはあるが対応しきれていない事業もまだまだあるため、ボランティアとして活動してくださる方も募り、お力を借りながら一人でも多くの子どもを支えられえよう取り組んでまいります。

決算報告

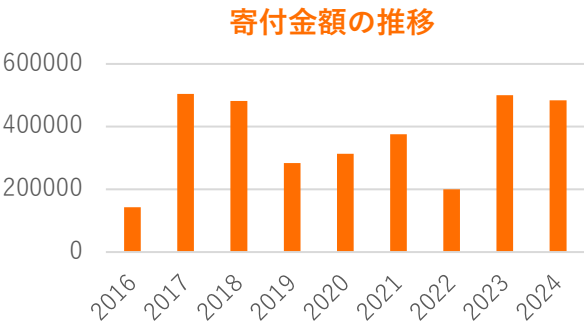
科目	金額
1. 受取会費	91,000
2. 受取寄付金	484,143
3. 受取助成金等	57,160,032
4. 事業収益	2,261,068
5. その他収益	50,355
経常収益計	60,046,598

- 収益は引き続き受取助成金が95%以上を占めています。団体の安定的な運営のために寄付金を増やす取り組みを行い、金銭的なことだけでなく、活動の共感者・応援者を増やすことが必要だと感じています。
2024年度はその一歩としてSNS等での情報発信を行ってまいりました。
- 費用は事業にかかる人件費が約65%となっています。収益と同じく法人の安定的な運用のための人材育成やスタッフ拡充を行いました。

科目	金額
1. 事業費	
人件費計	38,784,982
その他経費計	18,313,350
事業費計	57,098,332
2. 管理費	
人件費計	0
その他経費計	288,067
経常費用計	57,386,399
税引前当期正味財産増減額	2,660,199
当期正味財産増減額	2,506,509
前期繰越正味財産額	16,124,240
次期繰越正味財産額	18,630,749

寄付金

2024年度に皆様からお寄せいただいた寄付金は延べ82件、合計484,143円でした。寄付金は居場所づくり事業、法人運営に必要な費用に充てさせていただきました。多くの皆様からのご寄付、誠にありがとうございました。



NPO法人サードプレイスについて

●法人概要

名 称

特定非営利活動法人サードプレイス

目 的

この法人は、地域で暮らす子どもたちや大人に対して、子どものサードプレイス（居場所）づくりや「生き抜く力」を身につけるための体感・体験・学習に関する事業を行い、子どもたちの未来が明るくなり、豊かで充実した地域づくりに寄与することを目的とする。

法人設立

2017（平成29）年2月28日

●活動の目的

サードプレイスは、子どもたちにとっての居場所の必要性を周知し、人材を育成し活動者を増やしていくことで、子どもたちが早い段階で大人と出会い適切なサポートが受けられる地域を作っていくこと目的としています。

●活動の内容

横浜市鶴見区の子どもたちが自分でアクセスできる生活圏に、少なくとも1か所、サードプレイスを作ることを提案していきます。

その実現のために・・・

子どもたちの居場所づくりの推進

子どもに関わる活動関係者のネットワークづくり

子どもに関わる人たちの育成 を行っています。

●沿革

平成29年2月28日
平成29年度
平成29年度
平成29年度
平成30年度
平成30年度
平成30年9月24日
平成30年10月
平成31年2月
平成31年2月22日
平成31年度
平成31年度～現在
令和2年度～現在
令和2年5月
令和2年4月1日
令和2年4月～
令和4年9月
令和5年度～
令和6年度
令和7年度

法人設立
つるみ・元気アップ事業補助金（1年目）採択
独立行政法人福祉医療機構 WAM助成（社会福祉振興助成事業）採択
子どもゆめ基金 助成活動（二次募集）採択
つるみ・元気アップ事業補助金（2年目）採択
子供の未来応援基金 第2回未来応援ネットワーク事業採択
講演会「子どもの生活と声を知る」開催
つみれプロジェクト始動
2018年度ヨコハマ市民まち普請事業 つみれプロジェクト採択
横浜市立寺尾中学校にて「トークフォークダンス」実施
子供の未来応援基金 第3回未来応援ネットワーク事業
鶴見区青少年の居場所づくり活動補助金
横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業（サービスB）
コロナ禍の緊急対策としてひとり親家庭に食糧品配布を実施
児童家庭支援センターつるみらい開所
地域活動拠点230cafe（つみれカフェ）を事務局として経営
〈はまぎん〉ミライを創るアクションプログラムに採択
鶴見区寄り添い型生活支援事業 受託
独立行政法人福祉医療機構 WAM助成（社会福祉振興助成事業）に採択
独立行政法人福祉医療機構 WAM助成（社会福祉振興助成事業）に採択

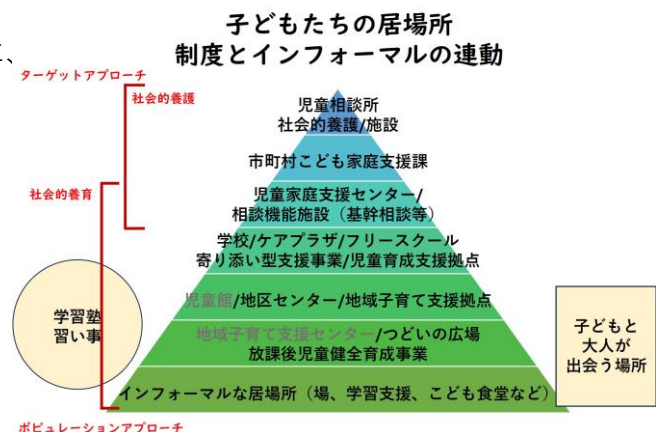
ビジョン

すべての子どもたちに
「頼れる大人」が身近にいる
地域をつくる

ミッション

こどもたちにはサードプレイ
スをつくり
大人たちには、こどもたちと
出会える場をつくる

多層的な地域の相談体制の連動を整理



NPO法人サードプレイス 独自整理

ご支援のお願い

NP0法人サードプレイスは年間約1,000人（※）の鶴見区の子どもたちと出会い、子どもたちや親を支えるさまざまな取り組みをおこなっています。

鶴見区の親子を支える活動を継続的・安定的に行うためには、皆様からの寄付・ボランティア等でのご支援が必要です。

私たちが担う取り組みは、既存の制度からこぼれてしまい見過ごされてしまう子が地域の中に取り残されないことを目指しています。

子どもたちの居場所づくりは、まちづくり。

いただいたご支援は、鶴見の子どもたちに活動を通じて届けさせていただきます。

ぜひ「寄付・ボランティア」で活動と一緒に参加してください。

（※）サードプレイスが実施する取り組みに参加する子どもたちの人数

皆様からのご寄付・ 支援を活用して行う活動

子どもたちの居場所、
子どもと大人が出会える場を
作っていく

子どもたちに寄り添うことが
できる大人たちを増やしていく

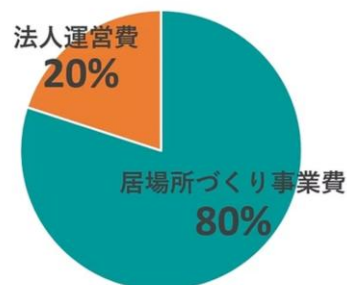
どんな背景の
子どもも集まれる
こどもたちの
居場所の運営

ひとりで頑張る
親を支える
鶴見区
ひとり親支援

学習環境に
恵まれない
中高生の
学習支援

体験の格差を
生まない
社会体験や
地域参加の支援

寄付金の使用割合



●ご寄付

クレジットカード・銀行振込

シンカブルWebサイトより

お申込みください。

サードプレイス応援団（毎月500円～）
こちらからお申込みいただけます

サードプレイス syncable

検索



郵便振替

口座記号番号：00260-5-103974

宛先：トクヒ）サードプレイス

●物品の寄付

●ボランティアに参加する

食品や文房具等の寄付、ボランティア
のご希望の方はHP「お問い合わせ」より
ご連絡ください。

●企業・団体の皆様

ご寄付やボランティアへの参加、講演依頼
などはメールにてご連絡ください。

●LINEスタンプ購入での支援



つるちゃんのスタンプ その1

<https://line.me/S/sticker/3435226>



つるちゃんのスタンプ その2

<https://line.me/S/sticker/3493571>



特定非営利活動法人サードプレイス

こどもたちにはサードプレイスを

おとなたちには、こどもたちと出会える場を。

〒230-0051

横浜市鶴見区鶴見中央1-10-3 鶴見ハウス301

TEL：080-9535-1594 Email：thirdplace.tsurumi@gmail.com

<https://www.n-thirdplace.com>